



患者さんのためのセカンドオピニオン相談用紙（記入例）

A：患者本人氏名		日赤 花子
B：相談の目的 （あてはまるものすべてに○）		① 外科的治療法と内科的治療法のどちらを選ぶかで迷っている 2 現在の治療法以外の治療法がないか相談したい ③ 大きな手術などを受けるよう勧められている 4 その他（下欄に記入）
C：持参できる資料		① 診療情報提供書（紹介状） ② 血液検査の結果 3 生理学検査の結果（心電図、呼吸機能、脳波など） ④ レントゲンフィルム（CD-Rなど） ⑤ 超音波検査の結果と画像 ⑥ CT・MRI検査などのフィルム（CD-Rなど） ⑦ 病理検査報告書 8 その他（ ）
D：現在の状況		入・通院： 1 入院中 ② 通院中 治 療： ① 治療前 2 治療中 3 経過観察中
これまで の 経 過	E1：いつ、何と診断されたか	発病または診断の時期： 年 3 ヶ月前ごろ 病名： 乳がん がんの場合： 病期 病理診断名
	E2：これまでに受けた検査	血液検査、マンモグラフィー検査、超音波検査、細胞診
	E3：これまでに受けた治療（該当者のみ）	
F：主治医の意見 （特に主治医が勧めている治療法とその理由）		最初に手術をおこない、手術後の病理検査の結果で抗がん剤治療か放射線治療をすると説明を受けた。 手術は、乳房を残す予定と聞いている。
G：質問・相談したいこと（箇条書きで）		1 乳房を残していると再発の危険性が高まるのではないかと手術をするのであれば、乳房は取ってしまったほうがよいと思う。 2 手術だけではだめなのか？手術をした後は、体力も低下していると思うので、抗がん剤や放射線治療を省略することはできないか？ 3 手術以外の方法、免疫療法などで治療はできないか？

患者さんのためのセカンドオピニオン相談用紙 記入上の注意

B：相談の目的

- あてはまるものすべてに○をつけてください。
- それ以外の目的は、下欄の空欄に記入してください。

C：持参できる資料

- 現在、かかっている主治医に、どのような資料を貸し出してもらえるかを相談してみましょう。
- あてはまるものすべてに○をつけてください
- その資料の分類（画像診断・生化学・病理検査など）がわかりにくい場合は、「その他」の欄に記入してください。

D：現在の状況

- 治療：まだ検査結果が出たばかりで、治療を始めていない方 ⇒ 治療前  
お薬を飲んでいたりなど、なんらかの治療を受けている方 ⇒ 治療中  
経過を観察している方 ⇒ 経過観察中

E1：いつ、何と診断されたか

- 病名や病期：現在の病名、病期を書いてください。

E2：これまでに受けた検査

- 治療期間が長期におよぶ方は、今の主治医のもとで最近受けた検査について書いてください。

E3：これまでに受けた治療（該当者のみ）

- 薬物治療については、現在使っている薬の名前を書いてください（過去に服用した薬は除く）

F：主治医の意見

- 主治医が勧める治療法とその理由を中心に書いてください。
- 主治医に記入してもらう必要はありません。主治医に説明されたことを、あなた自身の言葉で書いてください。

G：質問・相談したいこと（箇条書きで）

- あなたが最も聞きたいことから順番に書いてください。
- 記入欄のなかに書ききれない場合は、別の用紙に書いてください。
- 相談日まで、別の質問や新たな疑問が出てきた場合は、遠慮なくお尋ねください。その場合も、メモ用紙に箇条書きにしていただけると、スムーズに相談が行えます。

<相談用紙を送付する前に>

- 記入した「相談用紙」は、コピーをとって、手元に残しておきましょう。
- 相談日まで追加、修正があれば、記入して、相談当日にもっていきましょう。

<相談用紙の送付について>

- 記入した「相談用紙」は、申込書、診療情報提供書（コピー）と一緒に、当院の地域医療室へ、郵送またはFAX送信してください。

<連絡先>

高松赤十字病院 地域医療室

〒760-0017 香川県高松市番町 4-1-3 TEL：087-831-8131（直通）、FAX：087-863-4060（直通）